

西粟倉村『立志式』

大人への決意を新たに

二月二十日（金）、あわくら会館大ホールで立志式が行われました。式典では、青木議長をはじめとする来賓の方々から激励の言葉



をいただき、村からの記念品を山本那津実さんが代表して受け取りました。その後、立志を迎えた十二名の生徒を代表して延東響さんが、

- 一・自分の夢に向かって、努力を重ねることを誓います。
- 一・思いやりの気持ちを大切にし、互いに助け合うことを誓います。
- 一・自分の役割に責任を持ち、決まりを守り、はじめのある生活をすることを誓います。
- 一・西粟倉に生まれたことを誇りに思い、自信を持ってどんなことでも頑張ることを誓います。

と、誓いのことばを述べて、出席した生徒全員が決意を新たにしました。なお、立志式に向けて二年生全員の文集を作りましたので、代表して2人の生徒の将来の夢を紹介します。

「将来の夢」

延東 響

私の将来の夢は、保育士になることです。なぜかという、昔から小さい子供と遊ぶのは好きだったし、弟・妹を見てきて、幼稚園のころが一番かわいかったと思えるからです。それは最近、弟が姉に対してプチ反抗期だからでしょうか・・・とにかく大学を出てちゃんとした資格がとれたら、小さな保育園でも幼稚園でもいいから働きたいと思います。

でも、最近では女優さんにも挑戦してみたいなあと思うようになりました。そして一番近い夢として、高校生になったら演劇部に入りたいと思います。それ以前に高校生になれるのか、不安もいっぱいあるけど、自分の将来のことについてはもっともっとゆつくり考えていきたいと思っています。とりあえず、自分のことが自分でしっかりと理解できるようにになりたいです。今の自分は中途半端なところばかりだから、自分のビジョンをしっかりと持っていて、人に心から優しく接する

ことができる大人になりたいです。私たちが卒業するまであと残り約四百日。数字にすると多いようだけど、ぼうつとしていたら、あつというまな気がします。そして、これから先、辛いことも嫌なこともたくさんあると思います。だけど、そんなことに負けなくらい、毎日たくさん笑って一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

